



平成24年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハニーズ

コード番号 2792 URL <http://www.honeys.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江尻 義久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 西名 孝

TEL 0246-29-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第3四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第3四半期	43,220	4.2	2,874	14.8	2,936	14.6	1,397	58.8
23年5月期第3四半期	41,494	△1.5	2,503	32.1	2,563	33.6	880	43.9

(注) 包括利益 24年5月期第3四半期 1,812百万円 (—%) 23年5月期第3四半期 △83百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第3四半期	50.08	—
23年5月期第3四半期	31.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年5月期第3四半期	36,420	25,945	71.2	929.95
23年5月期	35,200	24,551	69.7	879.97

(参考) 自己資本 24年5月期第3四半期 25,945百万円 23年5月期 24,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	10.00	—	5.00	15.00
24年5月期	—	10.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	7.0	4,900	37.1	5,000	36.2	2,390	81.4	85.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期3Q	27,900,000 株	23年5月期	27,900,000 株
② 期末自己株式数	24年5月期3Q	72 株	23年5月期	72 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期3Q	27,899,928 株	23年5月期3Q	27,899,928 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災による落ち込みから7月～9月にかけて急回復をみせたものの、その後、欧州における金融不安や円高、タイの洪水で生じた供給制約からスローダウンしました。

当社グループが属するレディースカジュアル専門店業界は、震災後の復興需要や消費マインドの緩やかな改善など一部に復調の兆しが見られたものの、ラニーニャの発生に伴う不安定な天候の影響を受けました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、既存店の活性化に向けた施策として、ブランドコンセプトの見直しを進め、20～30代向けの通勤カジュアルやより幅広い世代に訴求できる大人カジュアルの強化を図りました。また、売れ筋商品を値ごろな価格で投入し、追加フォロー体制を強化するなど商品の鮮度アップにも取り組みました。さらに、ファッション誌とのコラボレーション企画やオンラインショップ店舗合同キャンペーンなど、さまざまな販促活動にも取り組みました。

店舗展開に関しましては、都市部を中心に計12店舗の新規出店を行う一方で、東日本大震災の影響による3店舗を含めた計34店舗の退店を行った結果、当第3四半期連結会計期間末における国内店舗数は829店舗となりました。

中国子会社である好麗姿(上海)服飾商貿有限公司(注)におきましては、計158店舗にのぼる新規出店を実施したほか、計12店舗の退店を行った結果、当第3四半期連結会計期間末における直営店舗数は354店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は432億20百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は28億74百万円(同14.8%増)、経常利益は29億36百万円(同14.6%増)、四半期純利益は13億97百万円(同58.8%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<日本>

日本における売上高は382億66百万円(前年同期比12百万円増)、営業利益は21億68百万円(同12.3%増)となりました。震災による影響を克服し、売上高はほぼ横ばいながら営業利益は増益となりました。

<中国>

中国における売上高は49億54百万円(前年同期比52.9%増)、営業利益は6億43百万円(同19.6%増)となりました。新規出店効果に加え、既存店も好調に推移したことから、増収増益となりました。

(注) 好麗姿(上海)服飾商貿有限公司の社名は中国語簡体字を含んでいるため、日本語常用漢字で代用しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて12億20百万円増加して364億20百万円となりました。これは、現金及び預金が大幅に増加したこと等によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べて1億73百万円減少して104億75百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加した一方で長期借入金が増加したこと等によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べて13億94百万円増加して259億45百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成24年1月10日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,435,395	7,926,618
売掛金	3,036,405	2,609,011
たな卸資産	5,839,849	6,332,433
未収還付法人税等	3,220	67
その他	1,274,711	1,196,823
貸倒引当金	△1,701	△1,442
流動資産合計	16,587,880	18,063,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,703,936	6,442,612
その他	2,724,713	2,876,914
有形固定資産合計	9,428,650	9,319,526
無形固定資産		
その他	79,297	101,475
無形固定資産合計	79,297	101,475
投資その他の資産		
差入保証金	8,139,395	7,985,051
その他	1,009,052	990,409
貸倒引当金	△43,963	△39,179
投資その他の資産合計	9,104,485	8,936,281
固定資産合計	18,612,433	18,357,283
資産合計	35,200,314	36,420,797
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,081,979	2,151,881
短期借入金	638,040	584,624
1年内返済予定の長期借入金	740,800	740,800
未払法人税等	439,665	707,152
ポイント引当金	10,807	3,127
災害損失引当金	63,677	19,159
資産除去債務	9,439	20,500
その他	4,470,572	3,454,443
流動負債合計	7,454,983	7,681,691
固定負債		
長期借入金	1,400,800	945,200
退職給付引当金	944,771	1,031,813
資産除去債務	774,269	758,665
その他	74,325	57,872
固定負債合計	3,194,166	2,793,551
負債合計	10,649,149	10,475,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,941,880	3,941,880
利益剰余金	18,251,344	19,230,316
自己株式	△330	△330
株主資本合計	25,759,694	26,738,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	558	3,406
繰延ヘッジ損益	△1,107,375	△652,857
為替換算調整勘定	△101,712	△143,659
その他の包括利益累計額合計	△1,208,529	△793,111
純資産合計	24,551,165	25,945,554
負債純資産合計	35,200,314	36,420,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
売上高	41,494,517	43,220,991
売上原価	17,439,594	18,672,335
売上総利益	24,054,923	24,548,656
販売費及び一般管理費	21,551,709	21,674,486
営業利益	2,503,213	2,874,170
営業外収益		
受取利息	1,609	2,477
受取配当金	277	497
受取地代家賃	34,084	32,433
受取補償金	28,311	16,000
デリバティブ評価益	27,238	20,816
貸倒引当金戻入額	—	5,042
雑収入	28,946	44,622
営業外収益合計	120,466	121,890
営業外費用		
支払利息	34,416	24,077
貸倒引当金繰入額	13,959	—
為替差損	4,898	25,730
雑損失	7,330	9,448
営業外費用合計	60,604	59,256
経常利益	2,563,075	2,936,804
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,133	—
固定資産売却益	1,309	361
特別利益合計	3,442	361
特別損失		
固定資産除却損	166,774	118,180
減損損失	316,826	196,414
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	489,525	—
その他	107,272	24,779
特別損失合計	1,080,399	339,374
税金等調整前四半期純利益	1,486,118	2,597,790
法人税、住民税及び事業税	894,516	1,257,265
法人税等還付税額	△90,978	—
法人税等調整額	△197,603	△56,945
法人税等合計	605,933	1,200,319
少数株主損益調整前四半期純利益	880,184	1,397,470
四半期純利益	880,184	1,397,470

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	880,184	1,397,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448	2,847
繰延ヘッジ損益	△878,355	454,517
為替換算調整勘定	△86,097	△41,947
その他の包括利益合計	△964,004	415,417
四半期包括利益	△83,819	1,812,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△83,819	1,812,888
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	日本	中国	
売上高			
外部顧客への売上高	38,253,936	3,240,581	41,494,517
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	38,253,936	3,240,581	41,494,517
セグメント利益	1,930,638	538,196	2,468,834

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,468,834
セグメント間取引消去	34,379
四半期連結損益計算書の営業利益	2,503,213

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において316,826千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	日本	中国	
売上高			
外部顧客への売上高	38,266,601	4,954,390	43,220,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	38,266,601	4,954,390	43,220,991
セグメント利益	2,168,134	643,859	2,811,994

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度末に比べて、当第3四半期連結会計期間の中国セグメントの資産の金額が1,497,931千円増加しておりますが、その主な理由は、新規出店に伴う有形固定資産の増加391,533千円、たな卸資産の増加813,507千円であります。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,811,994
セグメント間取引消去	62,175
四半期連結損益計算書の営業利益	2,874,170

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において196,414千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結会計期間
(自 平成23年12月1日
至 平成24年2月29日)

(重要な子会社等の設立)

当社は、平成24年2月1日開催の取締役会の決議に基づき、平成24年3月1日付でミャンマーに婦人服製造子会社を設立いたしました。

1. 子会社設立の理由

当社は、アジアにおける事業展開を重要な事業戦略の一つとして位置付けております。

従来は技術力の高い中国の協力工場に商品製造を委託しておりましたが、今般、将来の店舗網拡大を見据え、高品質の商品を安定的に確保するため、良質で豊富な労働力を有するミャンマーに製造子会社を設立するものであります。

2. 子会社の概要

- (1) 名称 : Honeys Garment Industry Limited
- (2) 設立日 : 平成24年3月1日
- (3) 所在地 : ミャンマー連邦共和国ヤンゴン管区ミンガラドンタウンシップ
- (4) 代表者 : 坂路 義光 (株式会社ハニークラブ 取締役工場長)
- (5) 資本金 : 300万USドル
- (6) 大株主 : 株式会社ハニーズ 100%
- (7) 事業内容 : 婦人服の製造